

第2回建設部会 女性活躍推進および先進技術視察

【実施概要】

目的：将来を見据えた人材の確保・育成と、建設現場の生産性を向上させる最新技術に関する取組を視察し、建設現場における女性活躍の推進・生産性向上について考える機会とする。

実施日：2024年7月2日（火）

参加者：建設部会員15名

視察先：(1) （一社）雄勝建設業協会（女性活躍の推進について）

[所在地] 湯沢市千石町

(2) 成瀬ダム（ICT活用について）

[所在地] 雄勝郡東成瀬村

(一社) 雄勝建設業協会

【テーマ】 女性活躍推進に関する取組事例について

【概要】 協会の女性部「はなこまち」及びあきた建設女性ネットワーク「クローバー」の活動内容や取組みについて意見交換

- はなこまちは、建設業に携わる女性職員のネットワークを構築し女性の技術力や社会的地位の向上を目的に2018年に設立した。
- 女性活躍に関する情報発信、地域ネットワークの構築、労働環境整備の3つを主な事業活動としている。
- 特に情報発信においては、建設業のイメージアップを図り担い手確保を促進するため、高校生をはじめとした若年層へのPRに重点を置き、YouTubeやインスタグラムなどを利用した発信を行っている。
- 年に一度、要望会を開催し、雄勝建設業協会に対しての要望活動を行っている。この要望活動が実り傘下企業の環境整備が図られている。



成瀬ダム

【テーマ】 ICT活用による生産性向上の取組事例について

【概要】 成瀬ダム堤体打設工事現場およびKAJIMA DX LABOを視察し、建設機械の自動化による建設生産システム「A4CSEL(クワッドアクセル)」の概要を情報提供

- 1983年度に秋田県が実施計画調査を開始し、1991年からは国直轄事業に移行して1997年度に事業着手。台形CSGダム形式を採用しており、台形CSGダムとして日本最大規模となっている。
- 当現場では、管制室（神奈川県・東京都）から自動化された建設機械に作業指示を出し、ダムの堤体打設工事部分を無人の建設機械が自律・自動運転で作業を行っている。
- 2024年現在の打設進捗度は約93%であり、2026年の竣工に向けて工事を進めている。

